

2008年(平成20年)

今、最も注目される総合型高校 福岡県立嘉穂総合高等学校 開校

2005年(平成17年)4月 福岡県立高校の再編成計画に伴い、福岡県立山田高等学校、福岡県立嘉穂工業高等学校、福岡県立嘉穂中央高等学校が統合。福岡県立嘉穂総合高等学校となり、飯塚市の福岡県立嘉穂中央高等学校の校地内に開校しました。

そして、2008年(平成20年)4月には、桂川町に校舎を移転。普通科情報総合コース、地球環境システム科、ロボットシステム科、ITシステム科の4学科があり、全学科とも福岡県内全域どこからでも受験でき、全学科通じて情報通信機器を駆使して専門知識を身につけ、進路実現していく学校です。



[問い合わせ]
嘉穂総合高等学校 ☎0948 (65) 5727
福岡県嘉穂郡桂川町土師 1117-1
公式サイト⇒ <http://kahosogo.fku.ed.jp/>

2001年(平成13年)

JR篠栗線・筑豊本線が “福北ゆたか線”の愛称で電化開業

桂川駅から篠栗トンネルを抜け、篠栗駅そして吉塚駅と繋がる九州旅客鉄道(JR九州)の「篠栗線(ささぐりせん)」は、昭和43年の開通から筑豊地域と福岡都市圏を直結する鉄道交通の大動脈として人々の生活を支えてきました。

そして、2001年(平成13年)、黒崎一折尾駅間と折尾駅から桂川駅に至る筑豊本線、そして桂川駅から吉塚駅に至る区間の電化施設工事が完了し、同年10月、「福北ゆたか線」の愛称で“より早く、より便利に!”と運行を開始しました。

その中にある桂川駅は、本町の利用者だけでなく、嘉麻市や飯塚市(筑穂地区)の利用者にとって、福岡都市圏への最寄駅ということもあり、一日の平均乗降車人員4,000人を超え、筑豊地区における拠点駅としての機能も担っています。駅舎も新駅舎となり、今後はさらに駅周辺の整備などにより利便性を高め、住みよいまちづくりの柱のひとつとなることが期待されています。



[問い合わせ]
桂川駅 ☎0948 (65) 0034
福岡県嘉穂郡桂川町豆田 131 番地 6 号
公式サイト⇒ <http://www.jrkyushu.co.jp>

2003年(平成15年)

旭ヶ丘団地 分譲開始

桂川町の中心(役場)から北東へ2kmの小高く見晴らしのよい斜面に位置し、桂川町が分譲する安心の宅地として2003年(平成15年)に販売を開始したのが、旭ヶ丘団地です。

旭ヶ丘団地は、最寄の桂川駅までは車で5分、福岡市まで快速利用で28分という利便性に加え、広々ゆったりとした敷地面積と緑に囲まれた住環境の良さ、光通信網の利用も可能で、さらに建築条件なしでいつでも好きなときに希望の家が建てられるとあって、好評を得ています。

販売価格は、89.81坪(296.88㎡)で593万7千円より。



[問い合わせ]
桂川町役場企画財政課 ☎0948 (65) 1085

